

## 第7回 ICT を活用した新道路交通調査体系検討会 議事概要

### 1. 日時

令和6年2月29日（木）13:00～14:30

### 2. 出席者

<委員長> 羽藤英二

<委員> 井料隆雅、小嶋文、兵藤哲朗、福田大輔、柳沼秀樹

（50音順、敬称略）

### 3. 議題

（1）新たな道路交通調査体系について

（2）新たな道路交通調査体系における常時観測データの活用に向けて

### 4. 議事概要

（1）新たな道路交通調査体系について

○事務局より新たな道路交通調査体系による今後の取組について説明後、委員より、WISNET2050・政策集で掲げている政策に対応できるように分解能を整合させるべき、xROADにおけるアプリケーションの接続が今後重要である等のご意見をいただいた。

○事務局より CCTV トラカンの精度向上に関する検討について説明後、委員より、CCTV トラカンによる常時観測化を引き続き推進すべき等のご意見をいただいた。

○事務局より次期 OD 調査に向けた検討状況について説明後、委員より、軽貨物車は ETC2.0 搭載率が低い点を考慮すべき、アドホックではない OD 表作成方法を長期的に検討するとよい等のご意見をいただいた。

（2）新たな道路交通調査体系における常時観測データの活用に向けて

○事務局より ETC2.0 プローブデータ等を用いた常時観測 OD 交通量の推定について説明後、委員より、元のリンク利用率の偏りが補正結果に影響している可能性も考えられるため確認すべき等のご意見をいただいた。

○事務局より渋滞予測を活用した道路交通マネジメントについて説明後、委員より、予測対象とする先の時間は活用シーンによりケースバイケースであるべき等のご意見をいただいた。

(3) その他

○事務局より能登半島地震における ETC2.0 データの活用状況について説明後、委員より、発災直後に交通状況を把握して調査や復旧のため現地に入っている人にも情報提供ができたことは特筆すべき等のご意見をいただいた。